

青葉区内の雨水調整池をはじめ5か所で シェアサイクルポートが同時オープンします！

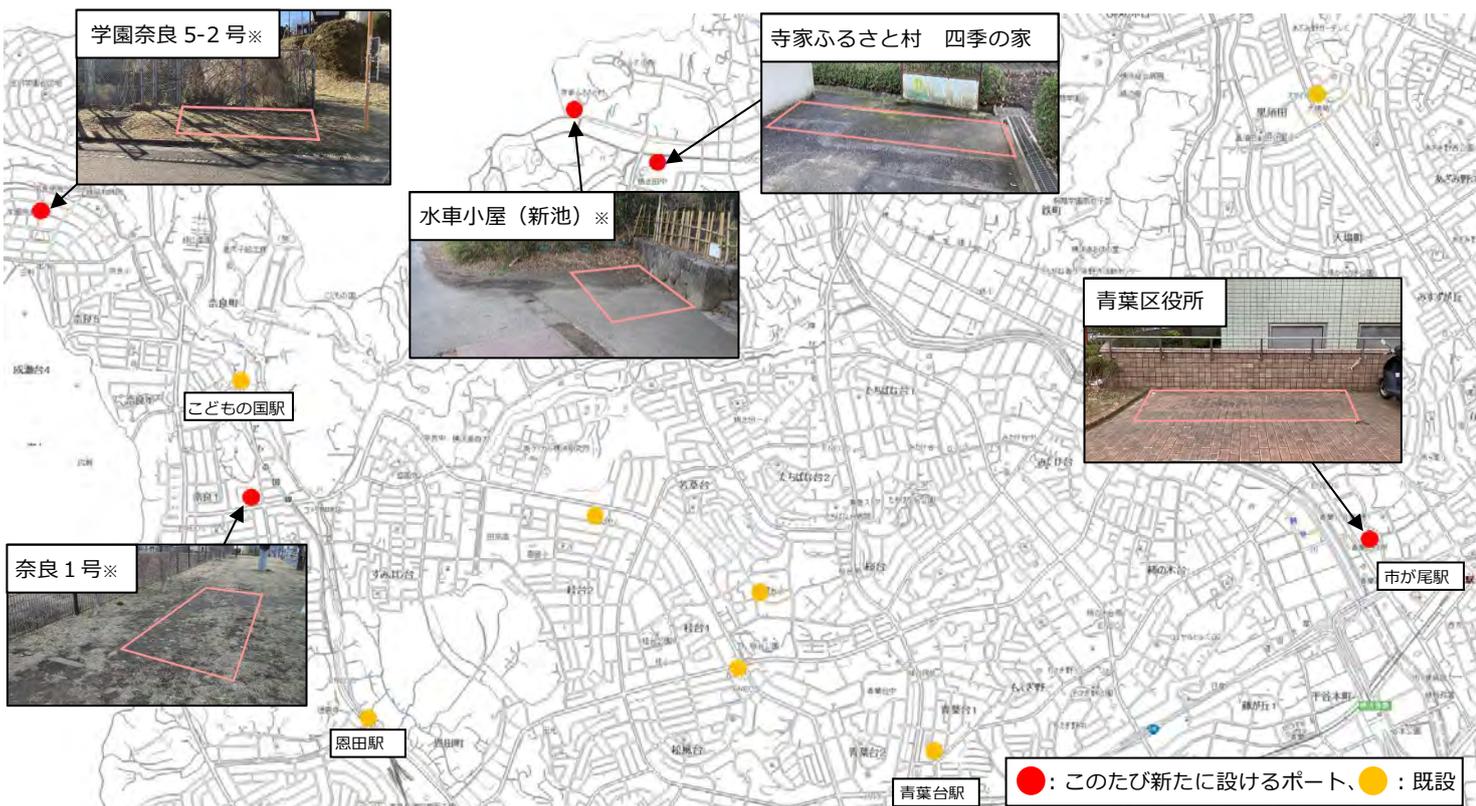
横浜市では、公共交通の機能補完等を目的として、市内広域でシェアサイクルの社会実験を実施しています。

このたび、雨水調整池3か所をはじめ、青葉区役所、寺家ふるさと村にある四季の家の5か所にシェアサイクルポートを5月16日（火）に同時オープンします。

横浜市内初となる雨水調整池を活用したシェアサイクルポートについては、住宅地周辺にあることから、駅まで気軽な移動手段としてシェアサイクルをご利用いただけます。

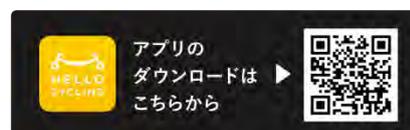
また、寺家ふるさと村では、四季の家と水車小屋にオープンすることで、ふるさと村内での回遊にもご利用いただけるようになります。

設置場所周辺ポート図 ※は雨水調整池



利用方法

- 1 右の二次元コードから、アプリをダウンロード
- 2 アプリ上でメールアドレス等の基本情報を入力し、会員登録を行ってください



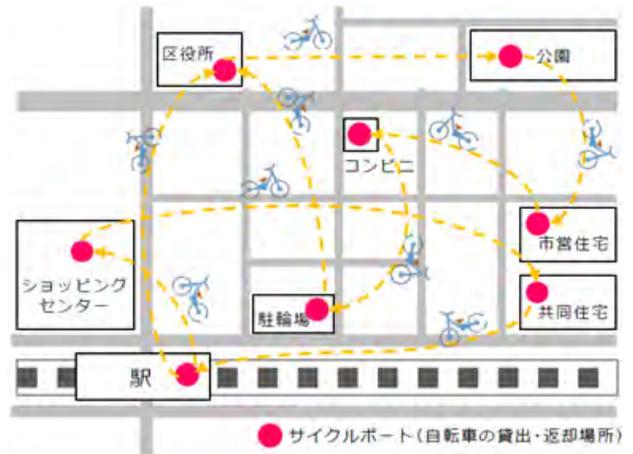
利用料金 最初 30 分 : 130 円 / 回 延長 : 100 円/15 分 上限 : 1,800 円/12 時間

裏面あり

【参考】

シェアサイクルとは

- ・シェアサイクルは、地域内に設置された複数のサイクルポートを相互に利用でき、借りた場所でなくても自転車が返却できる利便性の高い交通システムです。
- ・公共交通の機能を補完し、買物・レジャー利用や通勤通学等、環境に優しい地域の移動手段の一つとして近年日本全国で導入が進められています。



横浜市広域シェアサイクル事業社会実験について

地域の移動手段としての自転車の役割の拡大等を見据え、横浜市広域でのシェアサイクル事業社会実験の協働事業者として OpenStreet 株式会社（他連携事業者4社）及び株式会社ドコモ・バイクシェアと令和4年6月10日に協定を締結し、社会実験を行っています。

1 事業目的

- (1) 公共交通の機能補完として日常生活の移動手段の確保と移動の選択肢を増やす
- (2) 市内の移動回数の増加により、地域の活性化に貢献
- (3) マイカー移動からの転換により、脱炭素社会の形成を推進
- (4) 交通ルール等の更なる周知啓発
- (5) 公民連携による事業採算性の向上

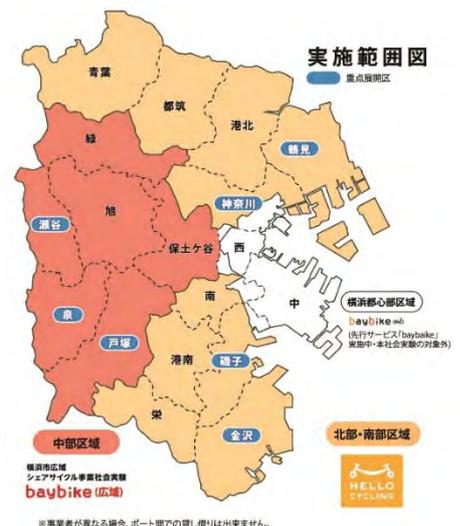
2 実施期間

2022年6月10日から2025年3月31日まで

3 社会実験の詳細

以下の横浜市ウェブサイトからご確認ください

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/bycycle/bicycle-policy/share-cycle.html>



お問合せ先

(横浜市広域シェアサイクル事業社会実験について)

道路局交通安全・自転車政策課長 石井 高幸 Tel 045-671-2775

(雨水調整池の活用について)

道路局河川企画課長 中島 智彦 Tel 045-671-2818